

○ 3つのポイント

1 活動時間の設定

- ・ 平日 **2** 時間程度
- ・ 休日 **3** 時間程度



2 休養日の設定

- ・ 平日 少なくとも **1** 日程度
- ・ 土日 少なくとも **1** 日以上 (週末に取れないときは、振替える)



3 一定程度長期の休養期間の設定

- ・ 夏休み、冬休みは
一定程度長期の休養期間を設ける



○ なぜ、方針ができたのか

**この方針は、
運動部・文化部共通です！**

■ 生涯にわたる豊かな生活を実現する資質・能力の育成

- ・ 知徳体のバランスのとれた「生きる力」を育み、生涯にわたる豊かな生活を実現！

■ 部活動のニーズの多様化

- ・ 勝つためではなく、友達と楽しみたい！適度な頻度でやりたい！

■ 教員の多忙化に伴う負担軽減が求められている

- ・ 諸外国と比べて、日本の教員の課外活動時間が長い
日本7.7時間 (参加国平均2.1時間) 【OECD・TALIS2013】

○部活動とは

部活動は、生徒の**心身の健全な育成**と
豊かな人間形成を図る上で、
極めて大きな意義をもつ教育活動です。



○方針をつくったねらい

- ・ 効率的な部活動運営によって、
更なる部活動の質的充実を図る。
- ・ 適正な部活動によって、
生徒一人一人の学校生活を更に活性化する。
- ・ 生徒のバランスのとれた成長と、
教職員のワーク・ライフ・バランスの実現。



生徒の皆様がスポーツ・文化などに
親しむ基盤としての部活動が、
各自のニーズに応じて多様な形で
適切に運営されるよう努めてまいります。

